

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第3区分  
 【発行日】令和4年5月2日(2022.5.2)

【国際公開番号】WO2019/193957  
 【出願番号】特願2020-511684(P2020-511684)

【国際特許分類】  
 F 2 8 D 1 1 / 0 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )  
 F 2 8 D 7 / 1 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

F 2 8 D 1 1 / 0 4

F 2 8 D 7 / 1 6 A

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年4月21日(2022.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項2】

前記遮蔽ユニットは、前記伝熱管の端部開口に近接して前記管板の熱媒体流入側空間及び／又は熱媒体流出側空間に配置されることを特徴とする請求項1に記載の多管式回転型熱交換器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

30

前記遮蔽ユニットを前記伝熱管の端部開口に近接して前記管板の熱媒体流入側空間及び／又は熱媒体流出側空間に配置することを特徴とする請求項11に記載の加熱又は冷却方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、多管式回転型熱交換器に関するものであり、より詳細には、シェル、管板及び伝熱管を全体的に回転させ、伝熱管内の熱媒体流体とシェル内の加熱域又は冷却域の被処理物との熱交換により被処理物を加熱又は冷却する多管式回転型熱交換器に関するものである。

40

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明の好適な実施形態によれば、上記遮蔽ユニットは、上記伝熱管の熱媒体流入側端部

50

の端部開口に近接して管板の熱媒体流入側空間に配置され、或いは、伝熱管の熱媒体流出側端部の端部開口に近接して管板の熱媒体流出側空間に配置される。所望により、遮蔽ユニットは、流入側端部及び流出側端部の各端部開口に近接して熱媒体流入側空間及び熱媒体流出側空間に夫々配置される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

10

更には、上記実施例に係る多管式回転型熱交換器は、基端側に端室を形成し、先端側を大気開放し、先端側から基端側に熱媒体流体を流通させる構成を有するが、基端側及び先端側の双方に端室を形成しても良く、また、熱媒体流体を基端側から先端側に流通させても良い。

20

30

40

50